

Title	新年のごあいさつ
Author(s)	北田, 章; 辻野, 守典; 深井, 考之助 他
Citation	makoto. 1984, 45, p. 2-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86047
rights	
Note	

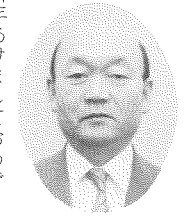
Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

新年にあたって

大阪府衛生部長



新年あけておめでとうござい
ます。

皆様には、つつがなく昭和59年の新春を迎えられましたことと、心からお祝い申し上げます。

昨年5月、衛生部長に就任し、無事新しい年を迎えることができましたのも、これひとえに、皆様のご協力のお陰と存じております。本年もなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い

申し上げます。

入って、「西暦2000年までに全ての人々に健康を」というWHOの目標を改めて考えてみますと、家庭や地域に根ざした府民の主体的な健康・体力づくりを推進することが、何にも増して重要であると考えております。

本府といたしましても、府民の自主的な健康づくり推進の担い手となる健康づくり推進員の

21世紀を迎える準備段階に

入って、「西暦2000年までに全ての人々に健康を」というWHOの目標を改めて考えてみますと、家庭や地域に根ざした府民の主体的な健康・体力づくりを推進することが、何にも増して重要であると考えております。

養成、市町村単位の健康づくり推進協議会の設置等により、保健所・市町村・医療機関・関係団体・地区組織などが一体となった推進体制の整備を促進して参りたいと存じております。

また、メデイカルチェック・体力測定などによる各個人の健康度の診断と、その状態に応じた栄養と運動の指導と処方、健康情報の収集・提供、指導者の養成等の機能をもつ健康増進のための中核施設整備の検討をすすめ、地域における健康・体力づくりを推進する所存であります。

海岸を利用した「海浜レクリエーションゾーン」の整備の促進と相俟って、「健康保養基地」の形成の推進を展望しつつ、健康・体力づくりはもとより、疾病の予防・治療・リハビリテーションまでの一貫した保健・医療システムの整備充実を旨としてまいりたいと存じます。

年頭にあたり、貴協会のますますのご活躍・ご発展をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

年頭のいきり

財団法人大阪防疫協会

理事長 辻野守典

が、日本列島を駆けめぐったようでした。「迷信症候群」「夜食症候群」「サラ金苦症候群」「ME革命危機症候群」等と、紙上に出て来る症候群によって、いささか言葉の消化不良症候群を起しそうになって来た。

「CATV」「ビデオテクス」「文字多重放送」「通信衛星」「INS」「VAN」等。ニューメディア（ニュー・エレクトロニック・メディア）として言葉が続々と

登場して来る。ほんやりしていると、情報化社会の孤児になってしまふような錯覚に落ちる。ニューメディアがこれから及ぼす社会的影響と変化はどのようなのか、大変興味深いものがある。

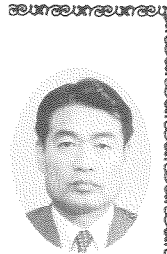
「マイクログレクトロニクス」を組み込んだメカトロニクス、トロニクス社会はどんな方向に進んでいくのであろうか、三菱総合研究所の牧野氏はメカトロ

ニクスを支える三つの技術として、「マイコン」「センサー」「ソフトウェア」をあげている。情報化社会の中で「ソフトウェア」の占める役割はどんどん大きくなって行くであろう。われわれも、業際という意味をしっかりと受けとめて、よりすぐれた技術をめざして、「ソフトウェア」の充実と蓄積に努めて行きたいと心している。

工業化社会から情報化社会への移行は「メガトレンド」、そして環境の汚染も？ そうなるのだろうか。住みよい美しい自然環境は人々の切望するところ。ドブ川と化してしまつた川、い

やドブを見ているとなんとでもない気持ちになつて来る。かつて西ドイツの美しい自然に接したことがあるが、価値の尺度が異なるのか、と考えたことを思い出す。

われわれの回りには多数の微生物が生存している。悪玉もいるけれども、大部分は善玉であると言われている。善玉の活躍が進めば自然環境の浄化が進むのは明白である。21世紀に向つて、大いに善玉微生物の活躍する場を与えることは如何がなものでしょうか。



明けましておめでとうござい
ます。プロ野球ファンを興奮の渦の中に巻きこんだ日本シリーズの熱戦が、ほんの昨日終つたように思えるのに、昭和59年の元旦を迎えました。昨年は何かと各位の温かい御指導、御鞭撻をたまわりまして有難うございました。本年もよろしく御指導、御鞭撻たまわりますよう御願い申し上げます。

さて昨年は「おしん症候群」

謹賀新年

財団法人阪大微生物病研究会

理事長 深井孝之助



新しい年が、新しい希望とともに始まりました。肝癌が予防できるようなろう、という希望です。血清肝炎（B型肝炎）と言えどなまご存知でしょうが、最近この病気になる人が、起る肝硬変が多くなる原因となるのがわかって来ました。殊にアジア地域の肝癌の

九〇%以上が肝炎にもとづくことと推定されて居ります。一方B型肝炎のワクチンの研究は、此の数年間に大きく前進しました。患者やウイルス保有者の血清の中からウイルスを集めてつくるワクチンには自ずからその量に限りがあり、供給も特定の危険群に限られましょ

う。ところが遺伝子工学の導入でこの壁が破られつつあるのです。その研究は日本でも、外国でも急速に進みつつあり、極めて近い将来、B型肝炎予防ワクチンが豊富に供給可能になるという希望が開けてきました。今までは肝炎ワクチンは、単

に肝炎という病気そのものの予防を目標に開発されて来ました。それがいま、肝炎が原因でもたらされる肝癌押えこみの第一段階となる道を進みはじめています。長い間の研究の蓄積が、いま芽をふき、花を咲かせようとしています。ここに到るまでには、それこそ全世界の——分子生物学から臨床医学、そして疫学に至るまでの——科学者の協力がありました。

世界には最も憎むべき悪の元凶、戦争のにおいがたちこめています。こんな世の中であればこそ、世界中の人々の協力で創りあげられつつあるB型肝炎のワクチンは、本当の意味での人類の安全保障として益々輝かしいものと思われたいです。私達の財団も、こうした方面から世の中のお役に立ちたいと心がけております。今後とも御指導、御鞭撻のほどを、年の始めにあたりお願い申し上げます。



新年ごあいさつ

大阪市環境保健局長

保川 圭司

財団法人大阪防疫協会の皆さん、あけましておめでとうございます。

昭和59年の新春を迎え、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈りいたしますとともに、平素から大阪市の環境保健行政に對しまして格別なるご協力を賜わっておりますお礼申しあげま

す。

昨年10月、大阪は大阪21世紀計画がスタートし、数多くのイベントが開催されました。そして、各地から多勢の人々が来阪され多大の成功をおさめたのであります。これも市民各位のご協力があったることと感謝いたしております。

さて、大阪では、やがて来る21世紀に向けて、快適な住みよい町づくりを目ざして、各種保健医療体制の充実、きめの細かい福祉の充実等を推進しておりますが、なかでも環境の整備は極めて重要なものと考えております。

近年、市民生活の多様化によ

り、種々様々な衛生害虫の移入等が問題になり、市民の健康、生活がおよびやかされていますが、これらに対応できる高度な知識、技術が必要な状況になってきております。

本市といたしましては、市民皆さんのよりよい生活環境を守るよう、環境改善に鋭意努力しておるところでございますが、それには、貴協会をはじめとする関係諸団体のご協力を賜わることにより、はじめて公衆衛生の向上と生活環境の確保が達成されるのでありまして、皆さんのお力添えに大きく期待する次第でございます。どうか、皆さんには、これらの時代に即応した防疫体制や住みよい生活環境づくりのために、なおいつそうのご努力とご協力をお願いし、財団法人大阪防疫協会の限りないご発展と、皆様方のますますのご活躍、ご健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年を迎えて

堺市衛生部長

西岡久雄



新年あけましておめでとうございませう。旧年中は、本市保健衛生行政に多大の御尽力を賜わり、厚く御礼申し上げます。さて、常日頃、保健衛生行政に携わる私達は、まず第一に、日々市民を疾病から守り、健康を保持増進し、肉体的・精神的能力を發揮できるよう周到な計画のもとにその職務の遂行にあたらねばならないと考えています。最近の市民の健康状態は、日常

生活としての健康観の深まりや公衆衛生思想の普及・向上により、平均寿命の伸長や疾病構造の変化等に見られるように、顕著な改善がみられています。しかし、その反面、急激な高齢化社会への移行あるいは都市化・工業化の進展にともなう生活環境・生活様式・食生活の変化等により、健康問題の質的変化がおこり成人病・難病・身心障害などといった新たな課題

が提起され、ますます保健衛生需要が増大してきています。このような現況にあつて、最も効果のある着実な在り方としては、地域のニーズを的確に把握し、科学技術を基盤とした保健衛生活動を推進し、もつて、市民の生涯を通じる健康づくりの推進に積極的に取り組んでまいることだと思つています。また、本市における伝染病の発生は、検疫体制の整備や、衛生思想の向

上等により年々減少の傾向にあります。増加に伴う輸入感染症の発生はむしろ漸増の傾向にあり、この対策として国・府など関係行政機関並びに関係医療機関と、常時緊密な連携を保ちつつ、平常防疫あるいは緊急防疫体制の強化に努めてまいりたいと思つています。さらにまた、本市は昨年三月に、来る二十一世紀に備え、調和と風格ある都市をめざして「新堺市総合計画」を策定し、その中で特に、「市民の生涯を通じる健康づくりの推進」についても、重要な柱として位置づけ、地域保健サービス、地域医療サービス、食品衛生、環境

衛生の向上等に向け、より積極的に諸活動を推進いたすことと申すまでもなく、私達が、これら諸活動を推進いたしていくためには、市民をはじめ関係の皆様方の絶大なるご支援とご協力は不可欠でありますので、どうぞよろしくご援助を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方のご健康と財団法人大阪防疫協会の方々の益々のご発展を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。



新年を迎えて

関西テレビ放送株式会社

総務部長 松本幹男

明けましておめでとうございませう。関西テレビ放送は、昨年十一月に開局二十五周年を迎えることが出来ました。

その間、近畿地区二千万人の視聴者の皆様の温かいご支援の

もと、放送活動を展開致し、事業隆昌のうちに順調な進展を上げてまいりました。とりわけ、当社開局以来四半世紀にわたり、大阪防疫協会様には本社々屋の環境衛生面にお

きまして並々ならぬご協力を賜わり深謝に堪えません。ここに紙上を借りまして厚くお礼申し上げます。当社は開局二十五周年を契機といたしまして、より一層の飛

躍を図って積極的な放送活動を展開いたす努力を重ねてまいるのでございますが、中でも皆様ご高承の通り、放送界は目前に「ニューメディア」による大きな変革の時期を迎えております。

当社におきましてもニューメディアとの共存を前提に、ハード面はもとよりソフト面においても積極的に取り組んで行く所存でございます。

どうか皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、大阪防疫協会様の益々ご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶を申し上げます。



阪急電鉄株式会社

車両部長 山口 益生

きれいな電車を求めて

新年おめでとうでございます。

都市近郊の鉄道事業に従事する私たちにとって、毎日の通勤通学輸送や、年末年始の輸送繁忙期は、ことさら神経をとがらせることとなります。事故で利用者の生命を危険にさらし、故障で迷惑をかけることのないよう、全力をあげてその予防と回避に努力しているわけでありま



南海電気鉄道株式会社
運輸部運輸第一課長 亀 井 康 年

新年に思う

明けましておめでとうございます。

元旦は、本当に清々しい気持ちになるものです。過ぎ去った一年を反省し、今年の計画を立て更に向上を期すため最もふさわしく意義深い節目であります。とは申しながらも、計画を立てる以上に継続してそれを実行することは、人間の弱さゆえに困難であります。

すが、年とともにその成果を上げつつあるのは事実であります。そのような状態が定着してまいりますと、当然のことながら、利用者にとって、電車は時刻どおりに走るのがあたりまえということとなります。水や空気と同一視されるようになってまいります。そうなりますとラブルは、事の軽重にあまり関係なくマスコミに取り上げられることになり、自然と神経もとがってまいります。しかし、考えようによつては、利用者や社会からのそのような評価は、鉄道に対する信頼の証であるように思われますので、いたづらに嘆き、愚痴することは慎むべしと自分自身にいきかせております。

さて、このような厳しい現実の中にあつて、利用者から、時として激励やおほめ言葉をいただくことがあります。中でも、私たち、車両の保守整備に携わる者にとつて、「いつもきれいな電車を利用させてもらつています」の一言は、とがっている神経をやわらげ、日常の苦勞を霧散一掃させるに十分であります。きれいな電車と評価されるためにはデザインの優劣もありません。使う材料の適否も影響するはずですが、最後の仕上げは、行きとどいた清掃にあるようであります。気持ちよ

く電車を利用していただくために、私たちも、さらに「清掃・甲斐のある電車」を求めて努力してまいります。そして、利用者からの激励やおほめの言葉を貴協会の皆様方と共に分かちあいたいと存じます。社会環境の整備充実が進むとともに、この種のニーズは益々ウエイトを増してくることであります。今後とも、なお一層のご協力をお願い申し上げます。貴会の発展を祈念して新年のごあいさつといたします。

私も現在までに珠算、書道、空手等二、三習い事をやりましたが、どれ一つとして一人前とはいえず「継続とは力なり」を理解しながら、自分の弱さに愛想が尽きております。

人間は、どうしても燃えなくて落ち込んでしまう日、苦しくて逃げ出したくなる日がありますが、無理してでも自分を見つめ、気分を変えて前向きに仕事に取り組めば、苦しみは薄れ楽しみが湧きだすという教えてあります。

踏まえ立案した今年の業務計画は、正思な考え方と態度で完全達成を目指したいと思えます。話は変わりますが、最近喫煙の害に関する記事が気になってきました。私は、一日30本以上を吸うヘビースモーカーに属し、目覚めた時、痰が詰まりすつきりしません。

仏教に、人格を完成するために行すべき八つの道「八正道」という教えがあります。その中の一つに「正思（しやうし）」があります。

私は、現職に就いて二回目の新年を迎えます。無我夢中での一年を反省し、将来の見通しを

知人で禁煙者が増え、会議も禁煙、難波駅をはじめ主要駅では、朝夕のラッシュ時間帯禁煙タイムへのご協力を、ご乗客の皆さまにお願いしております。タバコの有害性は、今更言うまでもありませんが、約四〇〇種の化学物質と、約50種の発ガン性物質が含まれているという。20年間喫煙し何度か禁煙に挑戦しましたが、最長記録はわずか18日であります。

新春雑感

能勢電鉄株式会社

常務取締役 福武清三



新年あけましておめでとうございませう。

去年は世界的な不況から、景気の回復が望めないままに明け暮れて、五十九年子年の新春を迎えました。

走りまわる鼠は、日本人の性格とよく似ており、落ちついて行動するというにはふさわしくない年のようですが、子は「滋」

の年で、ますます盛んに栄える年であるともいわれているので、不況など問題にしないでやっけて行きたいものです。

一年の計は元旦にありというくらいで、カレンダーも日記帳も手帳も新しい一頁を開くので、人それぞれにながしかの感慨はあるものです。

今年こそハンディキャップを

三つアップしよう。今年こそ仕事をやるうえで必要な資格を取ろう等々、目標に向かって努力する。

この「こそ」なる気持ちは、新年でないと持ちにくいものであり、いつまで続けられ、目的を達成することができるかを課題としたものです。

ところが、この課題が一月も

半ばを過ぎる頃で打ち切りになつたり、決意も覚悟も氷がとける頃に一緒にとけてしまうことがあります。

このような場合、ゴルフを例に挙げると、ティグラウンドに立つたとき、それぞれに自分の技倆を考えて、今日こそは四十五ベースで廻ろうといった目標をたてスタートするものです。

ところが途中で目標のスコアが崩れ、望みをなくしてしまうと、ショットも雑になり、バットも集中力が薄れてしまうことがあります。

しかしゴルフは九ホールズず

つに区切つてあるので、前半の悪かった状態を反省し、気持ちを整理して、後半のホールで今一度の希望と新たな決意でプレーすることができるよう。

私達の日常生活のうえにおいては、ゴルフのように一年を前半、後半に分けることはできませんが、気持ちの持ち方を変え、互いに目標に向かって今年も頑張りたいものです。